

コンピュータチェック事例コード

48SJ991127401

コンピュータチェック内容

小児特定疾患カウンセリング料の算定があり、対象疾患がない場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

小児特定疾患カウンセリング料は、別に厚生労働大臣が定める患者であって入院中以外のものに対して算定するとされています。

グラフの見方

1 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)

コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数

2 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)

コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

| | | |
|-------------|---------------|-----------|
| 査定 | 返戻 | : 設定根拠どおり |
| 請求どおり 職員 | 請求どおり 審査委員 | : 検証が必要 |

審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 67.98%

➤ 検証対象都道府県 37

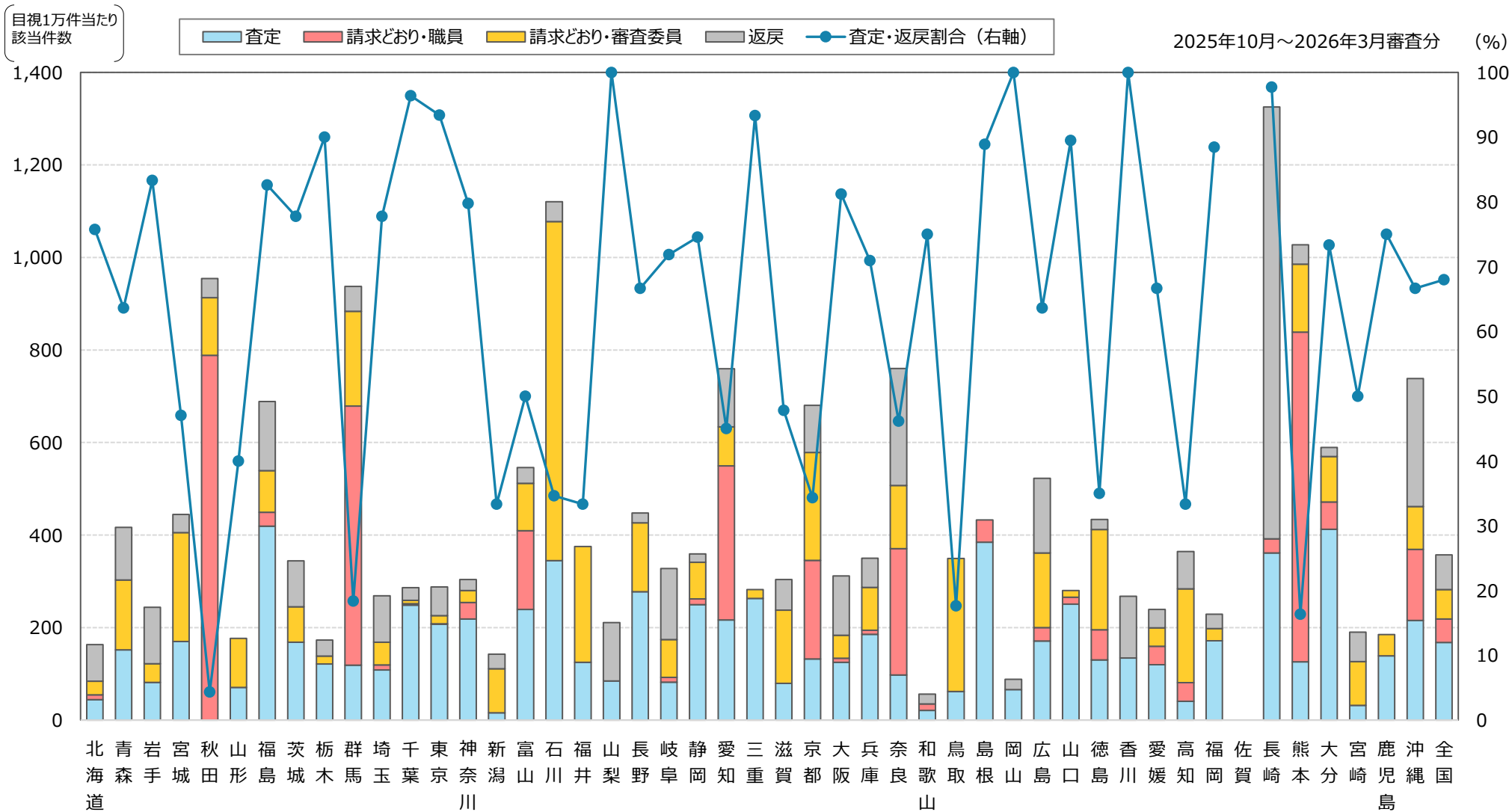
| 検証観点 | 都道府県※ | 備考 |
|------------|--|----------------|
| 査定・返戻割合が低い | 秋田、熊本、鳥取、群馬、新潟、福井、高知、京都、石川、徳島、山形、愛知、奈良、宮城、滋賀、富山 | 査定・返戻割合の低い順 |
| 請求どおり・職員 | 秋田、熊本、群馬、愛知、奈良、京都、富山、沖縄、徳島、大分、島根、高知、愛媛、神奈川、福島、広島 | 対象1万件当たり件数の多い順 |
| 請求どおり・審査委員 | 石川、鳥取、福井、宮城、京都、徳島、群馬、高知、広島、滋賀、青森、長野、熊本、奈良、秋田、山形 | // |

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

| | | |
|------------|--------------------|--------|
| 該当件数(全国) | 当該コンピュータチェックの内容に該当 | 2,277件 |
| 設定根拠どおりの審査 | 査定・返戻の計 | 1,548件 |
| 検証を必要とする審査 | 請求どおり | 729件 |

コンピュータチェック対象:小児特定疾患カウンセリング料

医科



【該当件数】 当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数